

山本秀煌 ユキタカ 牧師。安政四年十月二十日丹後國峯山生れ、昭和十八年十一月二十一日没（八五—一九四三）。舊姓岩井。明治七年横濱でアメリカ人宣教師ブルームより受洗、のち東京一致神學校卒。十一年聖役試補となり各地に傳道。四十年以降明治學院神學部教授と約二十年務り、日本基督教會の諸法職を兼任。傍ら日本キリスト教史の研究に従事。

著書『キリスト教聖書辭典』(博士小澤共編、明治二十五年六月—二十五年基督教教書類會社)。のち『キリスト教博士共編、大正十五年二月—二十日聚芳閣』、

『江戸切支丹屋敷の史蹟』(大正十二年六月—二十日インデア書院「インデア叢書」)、『日本基督教史』(上巻、大正十四年九月十七日、下巻、十一月十七日新生堂)、『聖アランシスコ・ザヴリヨ』(大正十四年十一月—二十日インデア書院「インデア叢書」)、『西教史談』(大正十五年六月—二十日新生堂)、『新日本の歴史』(大正十五年十月十六日聚芳閣)、『新家<sub>保</sub>の祖先<sub>忠</sub> 忠<sub>實</sub>夫人の信仰美談』(昭和五年一月—二十日大阪・山田聖天堂)等。

